

令和4年9月29日
第八管区海上保安本部
海上保安学校

第八管区海上保安本部・海上保安学校 定例記者懇談会

- 1 日時
令和4年9月29日（木）午後2時00分から
- 2 場所
舞鶴港湾合同庁舎2階 第1会議室
- 3 発表事項
＜第八管区海上保安本部＞
 - ・開催決定！舞鶴の船大集合！関係機関連携イベント！ブルーフェスタ2022～海のプロフェッショナルたち～
 - ・灯台154周年記念関連イベント開催！～灯台企画展、大型灯台での一般公開を開催～
 - ・「秋季期間の海の事故ゼロを目指して！」～磯場やミニボート等での釣り中の海難を防止～
＜海上保安学校＞
 - ・船舶運航システム課程第62期の着校について
 - ・船舶運航システム課程第62期の着校及び入学式の挙行について（連絡事項）
- 4 業務説明
＜第八管区海上保安本部 交通部＞
 - ・台風接近に伴う各港の対応について

令和4年10月業務予定

日	曜	業務内容	備考
継続			
1	土		上旬
2	日		
3	月	海上保安学校船舶運航システム課程第62期着校日	
4	火		
5	水		
6	木		
7	金		
8	土		
9	日		
10	月		
11	火		中旬
12	水		
13	木		
14	金		
15	土	ブルーフェスタ2022～海のプロフェッショナルたち～/海上保安学校入学式	
16	日		
17	月		
18	火		
19	水		
20	木		
21	金		下旬
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木	第八管区海上保安本部・海上保安学校定例記者懇談会	
28	金		
29	土	経ヶ岬灯台一般公開	
30	日	経ヶ岬灯台一般公開(予備日)	
31	月		

灯台企画展
～11/6まで



問合せ先：第八管区海上保安本部
総務課 今出・新谷・松田・米満
TEL 0773-76-4100
(内線 2111・2115・2117・2121)

令和4年9月29日
第八管区海上保安本部

開催決定！舞鶴の船大集合！関係機関連携イベント！

ブルーフェスタ2022

～海のプロフェッショナルたち～

舞鶴の海の関係機関が集結、巡視船や関係機関参加船艇による体験航海・一般公開、展示訓練、ブース展示による業務説明、制服試着等の各種イベントが楽しめる『ブルーフェスタ2022』を第八管区海上保安本部主催で開催します。

- 1 開催日時
令和4年10月15日（土）午前10時から午後4時までの間
- 2 開催場所
舞鶴西港第3埠頭
(駐車場は第3埠頭内にあります)
- 3 実施内容
参加船艇一般公開
小型艇による体験航海【※】
消防車等車両展示
制服試着コーナー
展示訓練
参加機関によるブース展示
その他各種アトラクションなど
※ 体験航海は事前抽選制となります。
- 4 参加機関
第八管区海上保安本部、舞鶴海上保安部
海上自衛隊舞鶴地方総監部
大阪税関舞鶴税関支署
近畿地方整備局舞鶴港湾事務所
近畿運輸局京都運輸支局
京都府港湾局

京都府警察舞鶴警察署
舞鶴市消防本部
その他民間団体等

5 入場料

無料

※ 入場にあたって氏名、住所、連絡先等のご記載をお願いしております。
インターネットで事前に登録いただくと、スムーズに入場することができます。詳細については、下記よりご確認をお願いいたします。



【第八管区海上保安本部 HP ブルーフェスタ特設サイト】

6 その他

悪天候や業務都合等により内容を変更、または行事を中止する場合があります。

2019年開催時の様子



ブルーフェスタ2022

～海のプロフェッショナルたち～

10月15日(土)

10:00～16:00

舞鶴の船大集合!

舞鶴西港第3埠頭



警察用船舶ゆら



海上自衛隊特別機動船



港湾業務艇きのかぜ



海面清掃船 双鶴丸



巡視船わかさ 搭載艇



掃海艇すがしま



巡視船わかさ

フースや各種
イベントも
あるよ!

＜一般公開＞

- ・舞鶴海上保安部 巡視船わかさ
- ・近畿地方整備局舞鶴港湾事務所 港湾業務艇きのかぜ
- ・海上自衛隊舞鶴地方総監部 掃海艇すがしま
- ・京都府港湾局 海面清掃船双鶴丸
- ・京都府舞鶴警察署 警察用船舶ゆら

＜体験航海＞※事前抽選制

- ・舞鶴海上保安部 巡視船わかさ搭載艇
- ・海上自衛隊舞鶴地方総監部 特別機動船
- ・近畿地方整備局舞鶴港湾事務所 港湾業務艇きのかぜ

＜展示訓練＞

- ・美保航空基地所属回転翼航空機による救助訓練

※体験航海に関しましては、事前抽選制になっております。

イベントの詳細、ご来場時の注意事項、体験航海の抽選申し込み方法等、重要なお知らせについては特設サイト

<<https://www.kaiho.mlit.go.jp/08kanku/bulefesta2022/bulefesta2022.html>>

(右記QRコードからアクセスできます)に掲載しております。ご確認ください。

会場: 舞鶴西港第3埠頭

主な交通機関からの所要時間等				
場所	手段	時間	距離	
西舞鶴駅	徒歩	約30分	約2km	
東舞鶴駅	車	約10分	約10km	
舞鶴自動車道 西舞鶴IC	車	約20分	約5km	

会場周辺地図



お問い合わせ先
第八管区海上保安本部総務課
TEL 0773-76-4100

イベント

<一般公開> 10:00~16:00



- ①舞鶴海上保安部 巡視船わかさ
- ②海上自衛隊第44掃海隊 掃海艇すがしま
- ③舞鶴警察署 警察用船舶ゆら
- ④京都府港湾局 清掃船 双鶴丸

<体験航海> ※事前抽選制

- ⑤舞鶴海上保安部 巡視船わかさ搭載艇
- ⑥海上自衛隊舞鶴警備隊 特別機動船

<搭載艇及び特別機動船タイムスケジュール>

- 1回目 10:20~10:30
- 2回目 10:30~10:40
- 3回目 10:40~10:50
- 4回目 10:50~11:00
- 5回目 13:00~13:10
- 6回目 13:10~13:20
- 7回目 13:20~13:30
- 8回目 13:30~13:40
- 9回目 13:50~14:00
- 10回目 14:00~14:10
- 11回目 14:10~14:20
- 12回目 14:20~14:30

⑦近畿地方整備局舞鶴港湾事務所 港湾業務艇きのかぜ

<タイムスケジュール>

- 1回目 10:25~10:55
- 2回目 13:05~13:35
- 3回目 14:05~14:35

<展示訓練>

○要救助者吊り上げ救助訓練

美保航空基地所属回転翼機・美保基地機動救難士

- 1回目 11:30~11:50
- 2回目 15:00~15:20

○巡視船わかさ搭載艇訓練

- 1回目 11:50~12:00
- 2回目 15:20~15:30

<イベント>

- 海洋少年団 「行進・手旗」 10:30~10:50
- 舞鶴税関支署 麻薬探知犬によるデモンストレーション
1回目 11:00~11:20 2回目 12:30~12:50
- 舞鶴警察署 騎馬隊とのふれあい(記念撮影)
13:00~14:00

<<https://www.kaiho.mlit.go.jp/08kanku/bulefesta2022/bulefesta2022.html>>

(右記QRコードからもアクセスできます)に掲載しております。ご確認ください。

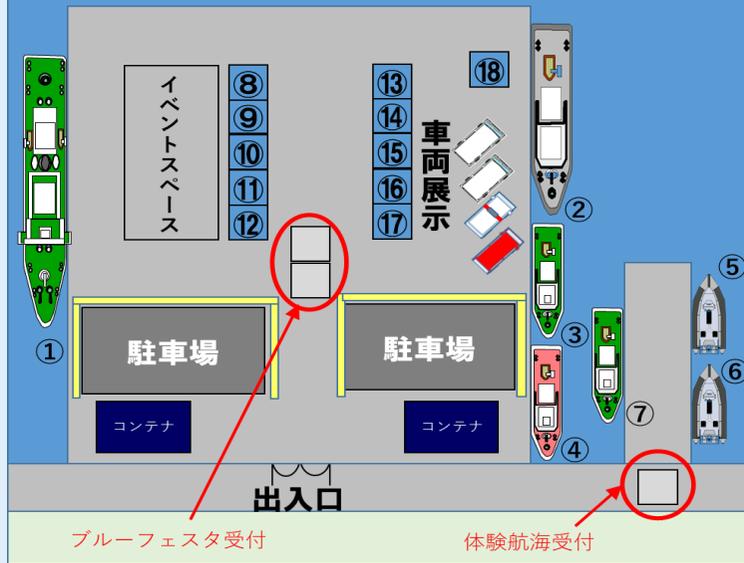
特設サイト



※新型コロナウイルス感染症対策の徹底をお願いいたします。

会場配置図

★展示訓練海域



<ブース区画> 10:00~16:00

- ⑩・⑪第八管区海上保安本部 「制服試着・VR体験・スタンプラリー 等」
- ⑬大阪税関舞鶴税関支署 「資料展示・業務紹介・職員募集 制服試着・着ぐるみ」
- ⑨近畿運輸局京都運輸支局 「資料展示・制服試着」
- ⑭・⑱海上自衛隊舞鶴地方総監部 「資料展示・業務紹介 職員募集・制服試着」
- ⑮・⑯舞鶴警察署 「資料展示・業務紹介 制服試着・着ぐるみ」
- ⑰舞鶴市消防本部 「資料展示」
- ⑧海上保安協会舞鶴地方本部 「グッズ販売」
- ⑫京都府水難救済会 「青い羽根募金・業務紹介」



<会場内>



<一般公開>

<2019年度に開催されたブルーフェスタの様子です>



<参加機関>

- 第八管区海上保安本部
- 舞鶴海上保安部
- 大阪税関舞鶴税関支署
- 近畿運輸局京都運輸支局
- 近畿地方整備局舞鶴港湾事務所
- 海上自衛隊舞鶴地方総監部
- 京都府港湾局
- 舞鶴警察署
- 舞鶴市消防本部
- 海上保安協会舞鶴地方本部
- 舞鶴海洋少年団
- 京都府水難救済会



会場周辺地図



問合せ先：第八管区海上保安本部
交通部企画課長 中野 明弘
TEL 0773-76-4100（内線 2610）

令和4年9月29日
第八管区海上保安本部

灯台154周年記念関連イベント開催！

～ 灯台企画展、大型灯台での一般公開を開催 ～

海上保安庁では、我が国初の洋式灯台である観音埼灯台（神奈川県横須賀市）の起工日（1868年11月1日）に因んで、11月1日を「灯台記念日」と定めており、今年で154周年を迎えます。

第八管区海上保安本部管内では、これを記念して下記イベントを実施します。

1 灯台企画展（第八管区海上保安本部主催、公益社団法人燈光会後援）

(1) 開催日時

令和4年10月29日（土）から11月6日（日）
（午前9時から午後5時まで（最終受付は午後4時30分））

(2) 開催場所

赤れんが博物館（舞鶴市）2階 特別展示室内

(3) 展示物概要

灯台レンガ、灯台写真パネル、灯器等の展示等

(4) その他

赤れんが博物館の展示物観覧には入館料が必要

大人400円、学生（小学～大学）150円（但し、市内在住か在学の学生は無料）

2 大型灯台での一般公開

灯台名	実施日	お問合せ先
経ヶ岬灯台 （京都府京丹後市）	10月29日（土）（予備日30日）	舞鶴海上保安部 TEL0773-76-4120
大岬灯台 （島根県大田市）	10月29日（土）（予備日30日）	浜田海上保安部 TEL0855-27-0772
美保関灯台 （島根県松江市）	11月3日（木）（予備日なし）	境海上保安部 TEL0859-42-2534

○管内の明治期灯台

灯台の建設は、我が国における近代建築の基礎をなした1つであり、文明開化のさきがけとなりました。明治期には全国各地に124基の沿岸灯台が建設されました。明治期の姿を残した灯台は、全国に64基（第八管区内5基）あり、現在も船舶の航行安全のため光を灯し続けています。



立石岬灯台

所在地：福井県敦賀市

点灯年月日：明治14年7月20日

- ・登録有形文化財登録（平成28年11月）
- ・八管区管内で最も古い灯台



馬島灯台

所在地：島根県浜田市

点灯年月日：明治31年5月1日

- ・八管区管内のれんが造り灯台の中で最も古い灯台



美保関灯台

所在地：島根県松江市

点灯年月日：明治31年11月8日

- ・重要文化財指定（令和4年2月9日）
- ・近代化産業遺産認定（平成21年2月）
- ・旧灯台官舎を利用したビュッフェ（松江市運営）



経ヶ岬灯台

所在地：京都府京丹後市

点灯年月日：明治31年12月25日

- ・近代化産業遺産認定（平成21年2月）
- ・全国の1等レンズ5箇所の中の1つ



出雲日御碕灯台

所在地：島根県出雲市

点灯年月日：明治36年4月1日

- ・重要文化財指定（令和4年2月9日）
- ・近代化産業遺産認定（平成21年2月）
- ・全国の1等レンズ5箇所の中の1つ

過去の灯台記念日関連行事の実施状況

(1) 灯台企画展



【写真パネル】



【LED 灯器】



【灯台クイズ】



【灯台紹介ビデオ上映】



【灯台用電球】



【灯台の使用レンガ】

(2) 大型灯台での一般公開



【経ヶ岬灯台（京都府京丹後市）】



【大岬灯台（島根県大田市）】



【問合せ先】第八管区海上保安本部交通部
安全対策課長 牛崎 泰成
TEL 0773-76-4100 (内線 2640)

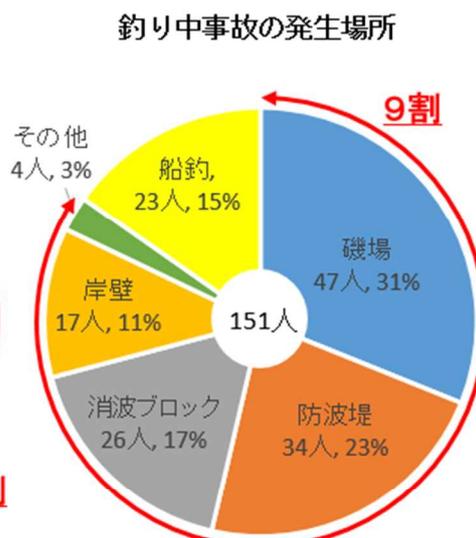
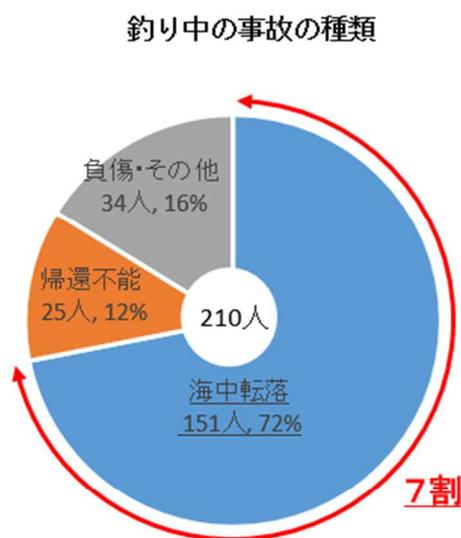
令和4年9月29日
第八管区海上保安本部

「秋季期間の海の事故ゼロを目指して！」 ～磯場やミニボート等での釣り中の海難を防止～

これから迎える秋季期間は、釣り中の海難とミニボートの海難が増加する傾向にあります。また、最近ではカヌーやSUPでの釣りも見受けられます。

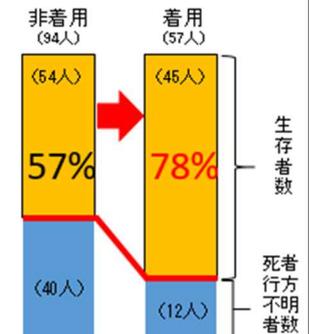
このため、第八管区海上保安本部では、安全推進釣具店やミニボート等のメーカー及び各販売店と協力した周知啓発、現場での直接指導等海難防止活動を重点的に実施します。

釣り中の人身海難（八管区全体） 過去5年間



ライフジャケット着用状況 (釣り中海中転落151人中)

ライフジャケット着用・非着用者の
死者・行方不明者割合の比較



救命胴衣着用で

生存率 **21%増**

【参考】過去5年間の釣り中の事故(※) [単位:人] ()は、死者・行方不明者数

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
事故者数	42(14)	40(8)	41(7)	45(20)	42(10)

1 釣り中の人身海難の特徴

- 釣り中の事故で最も多いのは海中転落であり、全体の7割以上を占めます。
- 海中転落の発生場所の約9割は陸上（磯場、防波堤等）からです。
- ライフジャケットを着用しないで海中転落した場合、4割が死亡・行方不明となっており、着用時は非着用時に比べ生存率が21%多くなっています。
- 海中転落は朝の7時ころや夕暮れ時の18時ころに多く発生しています。

2 海釣りを目的としたミニボートによる事故（別添資料1）

- ミニボート事故の主な種類は運航不能と転覆・浸水で、全体の約8割を占めています。
- ミニボート事故の主な原因は機関・船体の整備不良と気象海象不注意です。

- 近年、釣り目的でカヌーやSUPを使用する方も増えてきており、風等に流され帰れなくなる事故も発生しています。

3 注意事項

(1) 磯場・防波堤での釣り

➤ 釣りを安全に楽しむために最低限必要な装備の装着

- ・ライフジャケットの常時着用
体のサイズにあったものを選び、ベルトやファスナーは確実に締める。
- ・釣り場に応じた履物
釣り場の環境（岸壁や防波堤、磯場）に合わせた靴底（ゴム底、スパイク）、かつ脱げにくい靴を選ぶ。
- ・連絡手段の確保
防水ケースに入れた携帯電話を携行。

➤ 単独行動をしない

万が一海に落ちてしまっても、救助される可能性が高くなる。

➤ 釣行計画（行先、帰宅時間）を家族や仲間に伝えておく

➤ 立入禁止箇所に入らない

(2) ミニボート、カヌー等による釣り

➤ 気象海象をよく確認し、無理をしない

- ・風速と風向を確認
強い風（風速4m/s以上）、高い波（波高20cm以上）は危険。
特にオフショアの風^{*}が吹くと、沖に流され帰れなくなる。
※陸から海に向かって吹く“沖だし”の風
- ・気象庁の予報や天気アプリを使って、風が強くなり始める前に帰港する。

➤ 重心を低くして、転覆防止

重心が高くなったボートは揺れやすくなり、転落や転覆の危険がある。
ボートの片方に寄ることで重心が崩れ、転落や転覆の危険がある。
ボートの上では立たない、片寄らないことを心がけ、艇内は低い姿勢で移動。

➤ もしもの事故に備え、自己救命策の確保

- ・ライフジャケットの常時、適切な着用
- ・連絡手段の確保
防水ケース入り携帯電話の携行、家族や仲間に行先、帰宅時間を伝えておく。
- ・機関が故障しても自力（手漕ぎ）で帰る事ができる範囲での活動

➤ 機関、船体の発航前点検とメンテナンスの徹底

- ・航行予定に見合った燃料の搭載やエンジンオイルの量が十分か確認
- ・バッテリーやプラグ等の消耗部品の交換、業者による定期的な点検整備
- ・船体の亀裂、破口の確認（ゴムボートは経年劣化による剥離なども注意）

4 第八管区海上保安本部の主な活動内容

第八管区海上保安本部では、磯場やミニボート等での釣り中の事故防止の啓発として、安全推進釣具店やパドラー、アングラー、ミニボート、カヌーのメーカー及び各販売店と協力した事故防止の呼びかけを行っています。

事故概要

●事件事例①（浸水：ミニボート）

発生日時 令和4年8月12日(金)

発生場所 福井県三方郡美浜町沖

事故者 1：52歳男性（福井県鯖江市在住）

2：52歳男性（福井県鯖江市在住）

概要

事故者2人は1艇のミニボートに乗込み、福井県三方郡美浜町早瀬漁港を出航し、釣りを行っていたが、海上模様が悪くなってきたことから、出航地に引き返している途中、高波により船内に海水が流入して航行不能となり、118番通報で救助を要請したものの。

事故者2人は巡視船えちぜんの搭載艇により救助され、怪我はなかった。

船内には多くの釣り道具等を載せていたため、船の舷までの高さが海面上から20cm程しかなく、多くの海水が侵入したものの。

（事故時気象：晴れ、南南東の風8m、波浪1.5m）



浸水したミニボートと救助に向かう潜水士

●事件事例②（帰還不能：SUP）

発生日時 令和4年8月10日(水)

発生場所 福井県敦賀市立石沖北方約200メートル付近海上

事故者 1：29歳男性（滋賀県大津市在住）

2：29歳男性（兵庫県尼崎市在住）

概要

事故者2人は、釣りをを行うため1台のSUPに2人で乗り、立石漁港を出発したが、風が強くなり始めたため、帰還を試みるも波とうねりが強く出発場所まで戻れなくなったことから118番通報し救助要請したものの。

事故者2人は、巡視船えちぜんの搭載艇により救助され、怪我はなかった。（事故時気象：南東の風6m、波1m）



救助時の状況

〔参考〕

10月は「全国漁船安全操業推進月間[※]」としても定められているため、漁業協同組合と合同の海難防止活動、漁業関係者への訪問指導などの漁船事故防止活動についても推進していきます。（別添資料2）

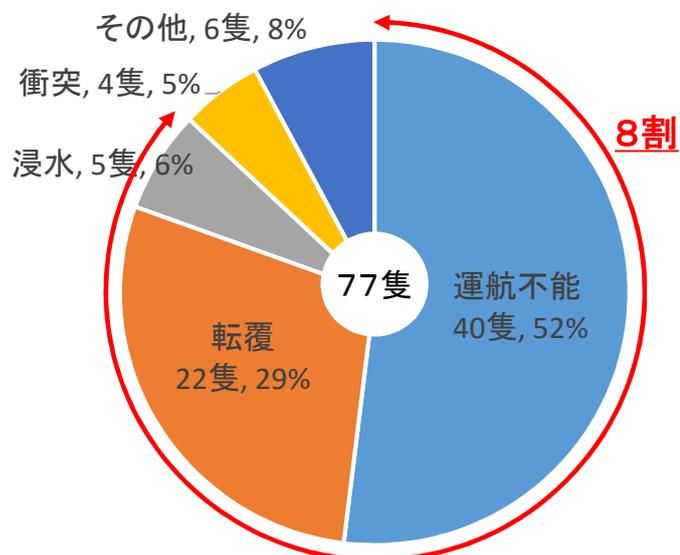
※全国漁船安全操業推進月間（幹事団体：（一社）大日本水産会、後援団体：海上保安庁、水産庁ほか）
漁業関係者や関係行政機関が連携し、10月を漁船事故の防止に取り組む月間としているものです。

ミニボートの事故の状況

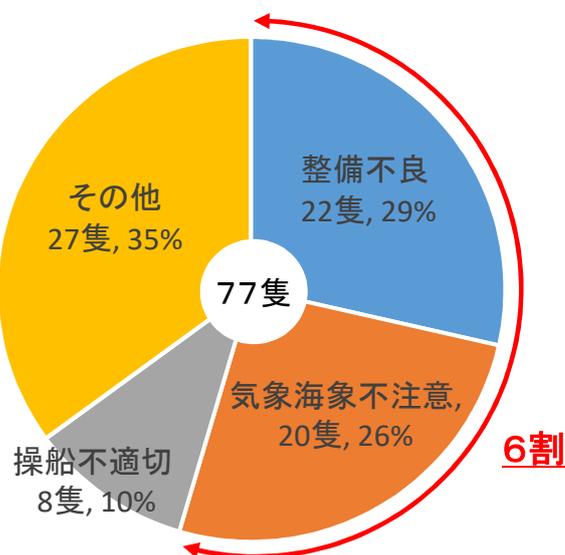
(平成29年から令和3年の累計)

八管区内

ミニボート事故の種類



ミニボート事故主要原因



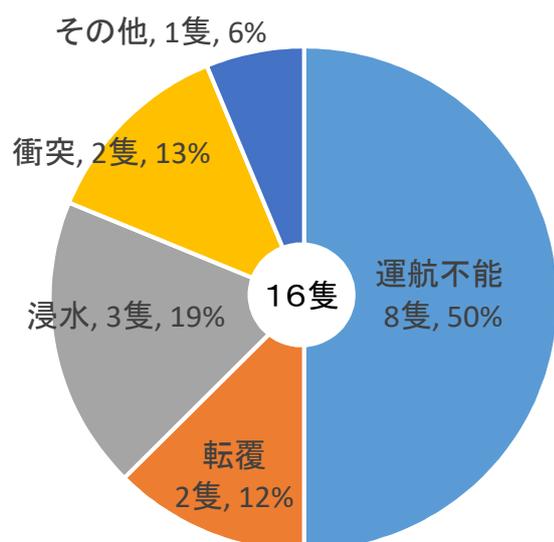
【参考】過去5年間のミニボート事故[単位:人]

()は、死者・行方不明者数

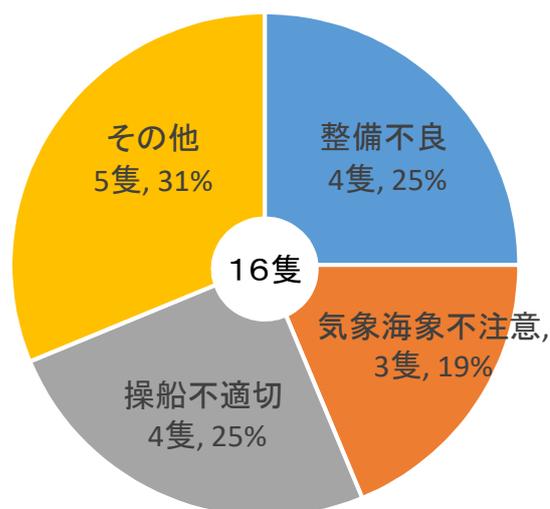
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
海難人数	13(0)	26(0)	23(0)	24(3)	31(1)

京都府内

ミニボート事故の種類



ミニボート事故主要原因



【参考】過去5年間のミニボート事故[単位:人]

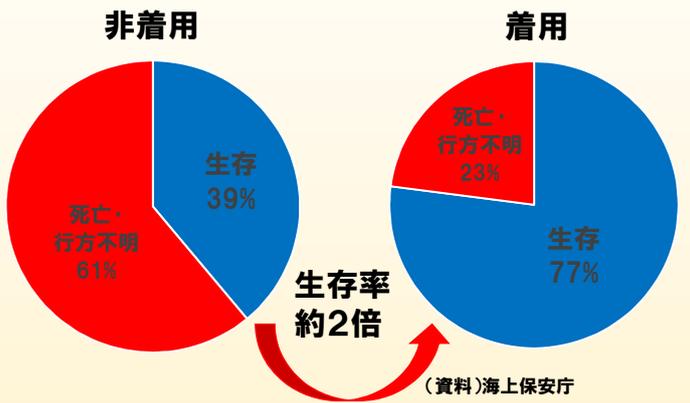
()は、死者・行方不明者数

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
海難人数	2(0)	4(0)	3(0)	3(0)	4(0)

事故ゼロの みやげを乗せて 笑顔の帰港



小型船舶の船長には、原則、すべての乗船者に
ライフジャケットを着用させる義務があります！



ライフジャケット着用の有無が
海中転落時の**生死**を分ける要因！
浜で待つ**家族**に対する**責任**です。

違反した船長には違反点数2点が課され、再教育講習を受けなければなりません。5点以上で免許停止の対象となります。

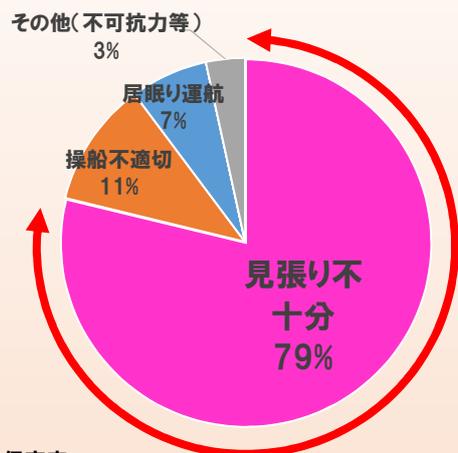


ライフジャケットの着用義務や使いやすい
ライフジャケットの種類等についての詳細は、
国土交通省のホームページへ



漁船海難は衝突事故が最多！
衝突原因の

8割程度が見張り不十分！
操業中も常に見張りを。



(資料)海上保安庁
衝突海難原因別の割合(R3)

衝突事故の回避に有効なAIS(船舶自動識別装置)を搭載した漁船については、保険料の一部助成制度があります。

【保険料の一部助成制度について】
実施主体：日本漁船保険組合
お問合せは、最寄りの漁船保険組合支所へ



海上保安学校連絡事項

船舶運航システム課程第62期の着校及び入学式の挙行について

着校日 令和4年10月3日（月）

入学式 令和4年10月15日（土）



学生分隊行進展示(令和3年11月)



入学生宣誓(令和3年11月)

船舶運航システム課程第62期の着校について

海上保安学校では10月3日において令和4年度における海上保安学校学生採用試験（特別）に合格した新入学生の着校受入を行います。

記

1 日時

令和4年10月3日（月）午前9時20分から午前11時頃まで

2 受入場所

海上保安学校校内

3 採用予定者数

216名

4 作業内容

東舞鶴駅から海上保安学校間におけるバス搬送
講堂内における学生の採用学生確認（受付）

※バス下車学生に対し、野外においてインタビューの時間を設ける予定です。



採用学生の受入れ（バス下車時体調確認）



採用学生の受付確認

